

SAP連携の概要

CoupaのSAP連携を支える力



はじめに

企業のクラウド技術の導入が進むにつれ、SaaSプラットフォームは企業のあらゆる業務分野において不可欠なツールとなりつつあります。しかし、その潜在能力を最大限に活かすためには、これらのプラットフォームがSAP ERPのような基幹システムとシームレスに連携できる必要があります。SaaSプラットフォームをSAPと連携させることで、組織のワークフローが効率化し、データ精度が向上します。信頼できる情報源を統合し、迅速な意思決定を促進できます。

しかし、明らかなメリットがあるにもかかわらず、スムーズな連携を実現するには課題が伴います。システム全体にわたるデータの整合性とセキュリティの管理や、複雑なAPIとカスタマイズ要件の対応など、連携プロジェクトには、通常、多大なリソースと専門知識が必要となります。本ホワイトペーパーでは、SAPとSaaSの連携が今日のデジタル企業にとってなぜ不可欠であるかを考察し、実装を成功させるための主な課題とベストプラクティスを概説します。

SaaSプラットフォームとSAPの連携における課題

シームレスで効率的なワークフローを構築するには、SaaSプラットフォームとSAPシステムの連携が不可欠ですが、複数の課題が伴うことも少なくありません。第一に、各プラットフォームが独自のデータ構造やフォーマットを使用している可能性があるため、システム全体でデータの整合性を維持することが難しい場合があります。その結果、データの不一致や相違が生じることがあります。第二に、機密性の高いビジネスデータがクラウドとオンプレミス環境の間でやり取りされるため、厳格な管理と法令順守が求められ、セキュリティとコンプライアンスが極めて重要になります。最後に、API管理の複雑さが課題となります。最新のSaaSソリューションはAPIに依存していることが多いため、SAPのインターフェイス要件にこれらを適合させ、頻繁なアップデートを管理するには、相当な技術的専門知識と調整が必要となります。

1000

全世界でのSAPの実装件数

月間APIコール数: 30億件以上、平均API
コール速度: 1秒未満、本番稼働までの
平均期間: 4か月、2023年の本番稼働件
数: 100件以上

SAPにおけるCoupa連携のメリット

SaaSプラットフォームとSAPの同期連携を綿密に設計することで、企業のアジリティ(俊敏性)を大幅に高め、ビジネスプロセスを効率化できます。SAPとSaaSプラットフォーム間のリアルタイムのデータ交換を可能にすることで、最新の情報に基づいた意思決定を行うことができ、遅延を減らし、応答時間を改善できます。このシームレスなデータフローにより、在庫レベルの調整、注文の処理、顧客対応など、チームがインサイトや最新情報に基づいて即座に行動でき、アジャイルな活動が可能になります。

さらに、同期連携により、手作業によるデータ入力が最小限に抑えられ、エラーが低減されるため、ワークフローがより円滑で効率的に実行できるようになります。その結果、市場の変化や業務上のニーズへの対応が容易になり、より迅速で対応力の優れたビジネスが実現します。

連携の戦略と手法

以降の章では、Coupaの顧客において最も一般的に使用されている連携アプローチについて説明します。

REST APIを使用したイベントドリブン連携

SaaSプラットフォームとSAP間のイベントドリブン連携により、すべてのシステムで即座にデータを更新でき、発注や在庫変更などの主要イベントに、確実かつリアルタイムで対応できるビジネスプロセスが可能になります。このアプローチでは、特定のアクションが発生した場合のみ更新がトリガーされるため、レイテンシーが減り、冗長的なデータ処理も最小限に抑えられます。さらに、データポーリングを定常的に行う必要性が低減し、システムの効率性と拡張性が向上するため、動的でトランザクションの多い環境に最適です。Coupaプラットフォームには、160以上のオブジェクトに対応するREST APIが搭載されています。APIは同期的に応答するので、イベントドリブン連携に最適です。機械による読み取りが可能なSwagger API文書をダウンロードし、JSON文書を使用してミドルウェアにエンドポイントを構築できます。

InventoryTransaction		>
Item	Items API	▼
GET	/items Query items	🔒
POST	/items Create item	🔒
GET	/items/{id} Show item	🔒
PATCH	/items/{id} Update item	🔒
PUT	/items/{id} Update item	🔒
GET	/items/{id}/image /items/{id}/image	🔒

35億件

2024年のCoupaプラットフォーム
への月間APIコール数

「Coupaは、IT面で私たちの業務を確実に楽にしてくれます。Coupaの機能により、特定のデータポイントを1回の連携でERPに渡せるようになりました。Coupaがある今では、カスタマイズする際の対処を社内ですべてできるようになりました。Coupaをアプリケーションの1つとして追加すると、IT関連のチケットが減少します」

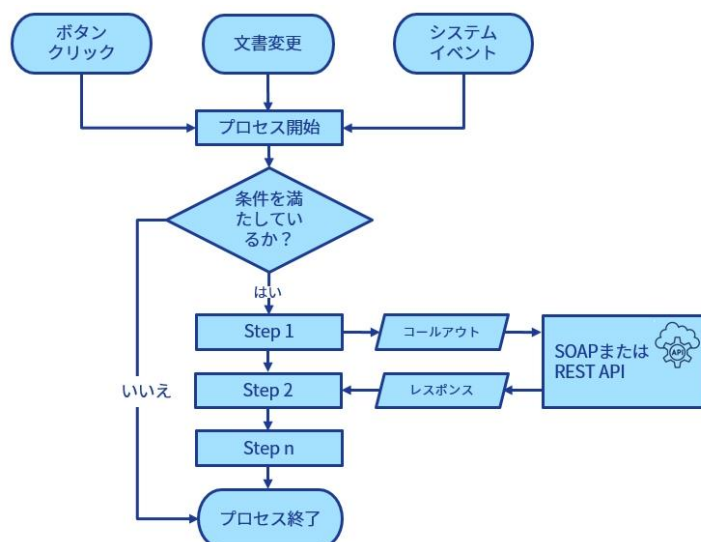
- Shannon Rold氏、シニアシステムアナリスト

Theravance
Biopharma

イベントドリブンコールアウト

Coupa Process AutomatorはREST APIと同等のソリューションです。Coupaプラットフォームのタスクを自動化し、新規発注作成などのイベントに基づいて外部エンドポイントに文書を送信できます。さらに、連携は関連するイベントのみに反応するよう設計できるため、より優れた拡張性と柔軟性を実現でき、リソースの使用を最適化し、ユーザーエクスペリエンスを向上させられます。同期フィードバックの値を解析し、新規のSAP文書番号があれば、Coupa文書に挿入できます。

プロセスが自動化されることで、管理者権限を持つユーザーはプログラミングの知識がなくても、GUIを介して新しいプロセスを作成できます。



フラットファイル連携

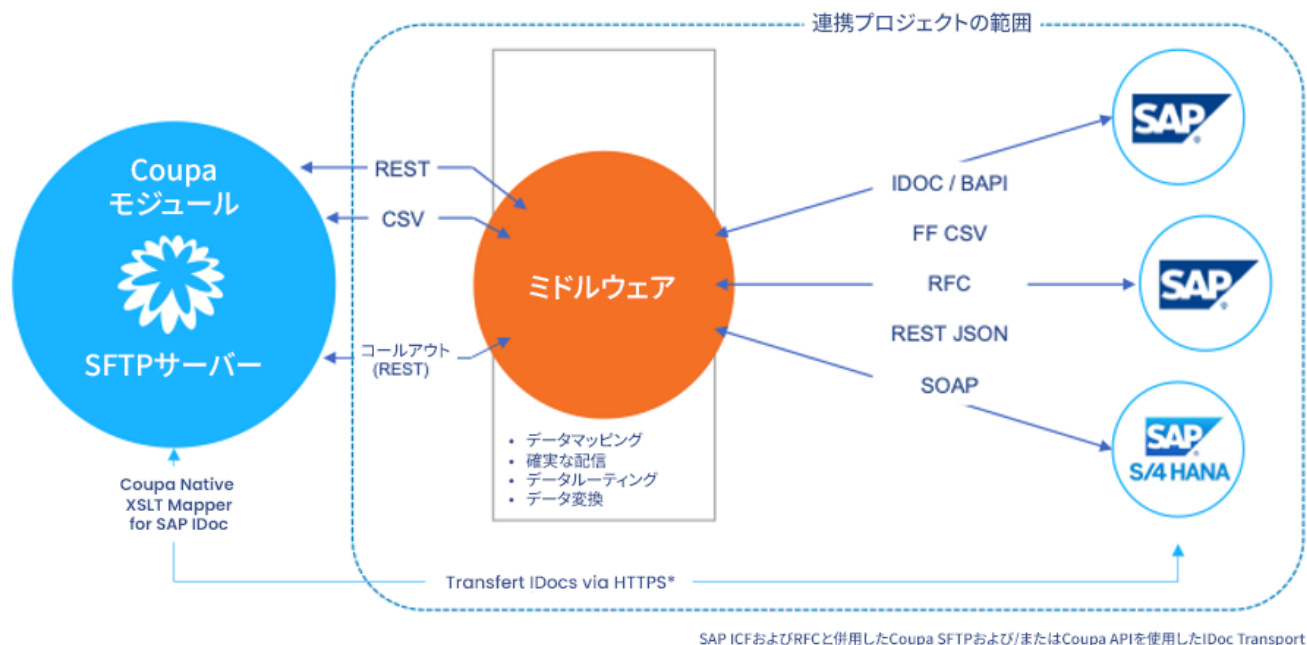
CoupaとSAP間のフラットファイル連携アプローチは、技術的な複雑性を最小限に抑えたシンプルな設定を求める企業にとって理想的であり、手軽で費用対効果の高いソリューションです。フラットファイル連携は、トラブルシューティングが容易で広く利用されるCSVやXMLなどの標準化された構造化ファイル形式に依存しているため、堅牢です。このアプローチは高度なカスタマイズが可能であり、綿密なAPI設定を必要とすることなく、データマッピングをカスタマイズできます。さらに、フラットファイル連携は実装や保守が容易であり、継続的な接続を必要とせず、定期的な一括アップロードをスケジュールできるため、データ交換の頻度が低い企業に適しています。

Coupaプラットフォームには、マスターデータや文書の事前設定済みエクスポートジョブやインポートジョブが94種類用意されています。管理者権限を持つユーザーであれば、ジョブをアクティブ化してスケジュールできます。データはCoupa sFTPサーバーにエクスポートされます。sFTPフォルダの1つにファイルがアップロードされると、インポートが自動的に開始されます。sFTPサーバーは、各顧客ごとに専用のものを使用します。

Integrations							
Integrations Control Center							
Create	Load from file	Export to	View	Standard	Advanced	supplier	
Showing results for supplier							
Name	Scheduled	Business Object	Direction	End System	Last Run Time	Last Run Status	Actions
Standard Supplier File Import	None	Supplier	To Coupa	None		None	
Standard Item/Supplier Item File Import	None	Item	To Coupa	None		None	

連携のベストプラクティス

SaaSプラットフォームとSAPの連携にミドルウェアを使用することは、ベストプラクティスと考えられています。システム間の通信を標準化し、一元管理することで、複雑性を軽減できるからです。ミドルウェアは、データ変換を簡素化する仲介レイヤーとして機能し、SAPとSaaSアプリケーションの多様なデータ形式とプロトコルの互換性を確保します。また、拡張性も向上し、既存の接続を中断することなく、追加のシステムをより簡単に連携できるようになります。さらに、ミドルウェアは強固なセキュリティ、モニタリング、エラー処理機能を提供し、ポイントツーポイント接続よりも信頼性が高く管理しやすい連携フレームワークを実現します。



Coupaは、ミドルウェア向けのマッピングテンプレートであなたをサポートします。テンプレートは、SAPビジネスパートナーのインバウンドやアウトバウンド、経理オブジェクト、および発注書・受領書・請求書・契約書などの文書といったマスターデータオブジェクトで利用できます。

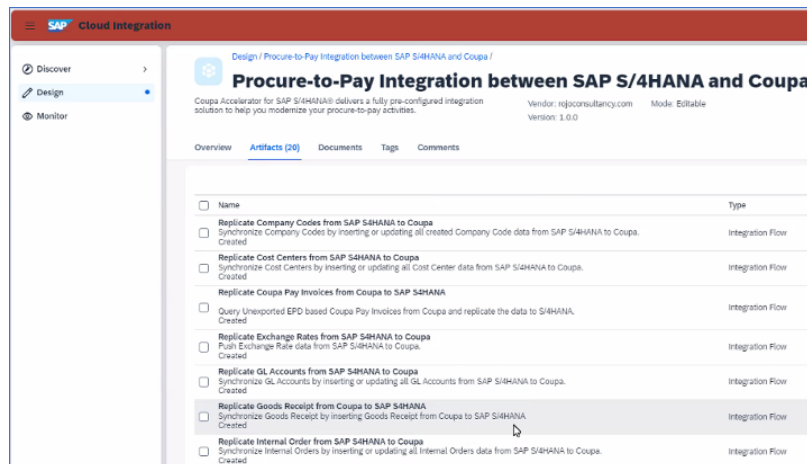
機械による読み取りが可能なREST APIの記述はダウンロードでき、ユーザーはそれをミドルウェアにインポートして、Coupa APIへのエンドポイントの構築に使用できます。

アクセラレーターで連携を簡素化

CoupaとSAPとの連携は、連携アクセラレーターによって簡素化できます。これは、発注書や請求書処理などの一般的な連携シナリオに対応するように特別に設計されたもので、事前構築済みのコネクタとワークフローを提供します。アクセラレーターは、すぐに使えるよう構成されており、データマッピング、エラー処理ロジックを提供することで開発時間を短縮し、設定プロセスを効率化し、CoupaとSAP間のシームレスなデータフローを可能にします。また、データ変換、セキュリティ、API管理に関するベストプラクティスも組み込まれており、連携の信頼性を高め、メンテナンスを容易にします。その結果、カスタマイズが最小限に抑えられ、Time-to-Value (成果が出るまでの時間)が短縮し、CoupaとSAPの連携が迅速に展開し拡張できるようになります。

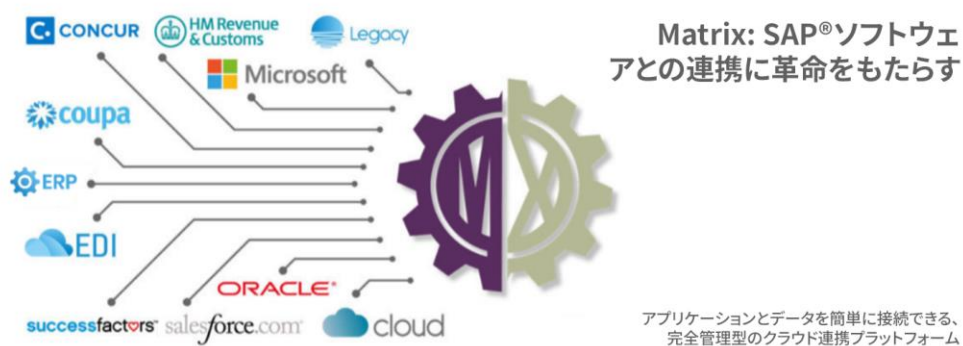
Rojoアクセラレーター

Rojo Coupa Adapterは、Coupaの支出管理プラットフォームとSAPなどのERPシステムを接続するために設計された連携ソリューションです。事前構築済みの連携モジュールを提供し、発注書、請求書、サプライヤーデータなど、購買プロセスにおけるデータ同期を効率化します。Rojo Coupa Adapterを使用することで、CoupaとSAP間のデータフローの自動化と標準化が可能になり、手作業でのデータ入力が減り、エラーも最小限に抑えられます。また、モニタリング機能やエラー処理機能も備えており、連携プロセスの管理と維持を効率的かつ安全に行うことができます。Rojoは、SAP Cloud Integration (CI)、BTP、SAP CPI用の連携フローのライブラリを提供しています。



Mandant Matrix Middleware as a Service

Mandant Matrix Middleware as a Serviceは、柔軟なクラウドベースの連携レイヤーを提供し、CoupaやSAPなどの多様なアプリケーションを企業全体で簡単に接続できるようにします。マネージドミドルウェアサービスを提供することで、社内インフラや継続的なメンテナンスの必要性を減らし、企業が本業に集中できるようにします。また、拡張性も強化され、ビジネスニーズの変化に応じて、新しい連携を追加したり、既存の連携を適応させたりすることが容易になります。さらに、このサービスは、高いセキュリティ、監視、エラー処理能力を確保し、複数エンティティによる複雑な環境にも対応できる堅牢で信頼性の高い連携ソリューションを提供します。



その他の連携アクセラレーター

Boomi、Mulesoft、Workday、その他のCoupaパートナーによるCoupa認定の連携アクセラレーターは、Coupa Marketplaceでご覧いただけます。 <https://marketplace.coupa.com/en-US/listing?cat=81336>

ベストプラクティスの例

詳細な事例については、<https://coupa.co.jp/customers>をご覧ください。

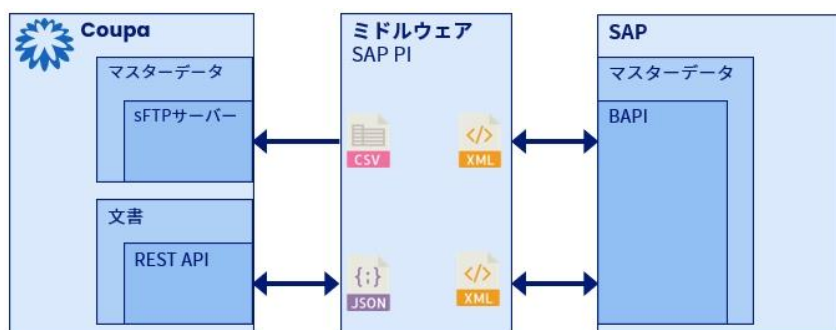
Novo Nordisk

Novo Nordisk、節減を救命治療の研究に活用

完全なDXによりNovo Nordiskでは、コストだった購買が価値に変わりました。現在、同社は購買で得られた節減を治療研究の向上に充てています。

ミドルウェア: SAP PI / PO

連携: CSVファイルを介したマスターデータの交換。サプライヤー、および発注書、受領書、請求書などの文書は、REST APIを介して交換されます。1つのSAPシステムに合計21個の連携ポイントがあります。



課題: P2P (購買から支払い) プロセスに複数のポイントソリューションを使用しているため、支出の透明性とデータ収集が低い状態でした。

異なるシステムを使用していたため、研究機器の購入が研究員にとって複雑になり、ユーザーの定着率が低く、節減を効果的に行えませんでした。

調達と契約管理をデジタル化してリスクを軽減し、さらなる節減を実現する必要がありました。

ソリューション: Coupa P2P (購買から支払い)、契約管理、請求書処理、調達

結果: 購買プロセス全体をカバーする単一の統合ソリューションを使用することで、カテゴリ戦略から支払いまで、支出に関する全体的な把握が可能になり、より適切なリソース配分が可能になりました。

自動化されたワークフローを備えたユーザーフレンドリーなプラットフォームにより、世界各地の従業員による高い定着率とコンプライアンスの改善を実現しました。

調達業務の99%、契約管理の100%をデジタル化することで、サプライヤーやパートナーとのより良いコラボレーションを実現しました。

99%

Novo Nordiskでは、ソーシングイベントの99%をCoupaで実施

「購買と当社のデジタルトランスフォーメーションが、今や当社の成長と、お客様への約束を果たす能力を支えています。これは本当に素晴らしいことです」

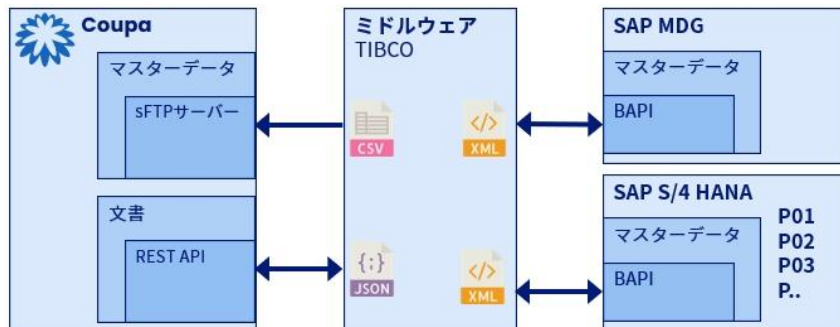
Martin Fog氏、企業購買・プロセス・デジタル化担当バイスプレジデント

Sanofi

Sanofiはフランスに本社を置く多国籍製薬企業で、100か国に従業員がいます。

ミドルウェア: TIBCO

連携: Sanofiのプラットフォームは、20のERPシステム(ほとんどがSAP)に接続されています。TIBCOのミドルウェアがマッピングとルーティングを管理しています。マスターデータはCSVファイルで、発注書と受領書はREST APIで交換されます。



課題: 100か国、22のシステム、40のP2P管理サブプロセスがあり、支出管理は深刻な課題でした。

チームメンバーは非効率性に不満を抱いていました。

経営陣は、世界各国の支出の可視化と管理の向上と同時に、現地の規制に準拠する必要がありました。

解決策: Coupa Procurement、契約管理、支出分析

結果: P2Pを、22のシステムから1つの統合プラットフォームに集約したことで、支出を全体的な可視化と管理ができるようになりました。

同社のシステムは世界中でコンプライアンスを維持しています。

6万人のユーザーを擁するSanofiチームの95%がCoupaプラットフォームに満足しています。

100%

Sanofiでの発注に紐づく支出

「Coupaは、グローバルでの可視化、コンプライアンス、ユーザーの定着という3つの点で価値を提供します」

Sebastien Van De Wiele氏、P2Pプログラ
ムマネージャー

認定導入パートナー

連携プロジェクトでは、Coupaのベストプラクティスと標準に従った連携を確実に
行えるよう、専門知識を持ったCoupa認定の導入パートナーが支援します。認定
パートナーは、CoupaのAPI、データモデル、ワークフローに関する専門知識を有
しており、ミスによる高額なコスト発生のリスクを軽減し、よりスムーズで迅速な
展開を実現します。これらのパートナーは、Coupaのサポートやリソースにも直
接アクセスできるため、問題解決をスピードアップし、プロジェクト全体の効率性
を向上させることができます。最終的には、認定パートナーと協力することで、連
携の質、信頼性、長期的な成功を高め、Coupaプラットフォームの価値を最大限に
引き出すことができます。

エリートパートナー

大規模かつ複雑な展開での成功事例を持ったパートナーの最高クラスの導入経験を
活用できます。

[パートナーを探す →](#)

プレミアパートナー

コンサルティングと購買分野を得意とし、Coupaプラクティショナーのトレーニング
と認定に投資してきたパートナーからのサポートを得ることができます。

[パートナーを探す →](#)

認定パートナー

Coupaに参入して間もないものの、コンサルティングと購買分野を得意とし、
Coupaプラクティショナーのトレーニングと認定に投資してきたパートナーから新
しいインサイトを得ることができます。

[パートナーを探す →](#)

3か月

Autoscout24でのキックオフか
らP20の本番稼働までの時間

「Coupaは私たちの
期待を上回るもので
した。また、さまざ
まな方法で設定でき
ます。また、Acantis
とのコラボレーショ
ンは過去も現在も本
当に素晴らしいもの
です」

- Don Stenden氏、AutoScout24、購買部門
責任者